

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社凜興建

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																															
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17															
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・経営理念は社内に掲示し、社員と共有、実践している。 ・経営目標は朝礼や会議の場で共有している。								8	9												17											
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・朝礼時にコンプライアンス事例を共有し、法令遵守の意識醸成を行っている。 ・毎日アルコールチェックを実施し、飲酒運転の撲滅に取り組んでいる。																					16											
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・見積書を作成し、代表者による確認を行うことで公正な取引を行っている。 ・不正競争行為に関与しないよう、会議を行い社員への教育を徹底している。															10						16											
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社会、環境への影響については、代表者自身が担当者として対応している。 ・SDGコンパスに基づき、企業活動が社会、環境へ及ぼす影響について分析していく体制を整備している。																					16											
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産については、外部漏洩が発生しないよう、コンプライアンス事例の共有により社員へ教育している。 ・SNS等で会社の情報発信する際は、知的財産の写真への映り込みに十分配慮している。								8.2	9												16											
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報は施錠できる箇所に保管し、担当者のみが閲覧できるよう適切に管理している。																						16										
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・牛深商工会や取引先との対話により積極的に情報交換を行い、社会への影響等について認識を共有している。																				16	17											
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8			10		12	13			14	15	16		17											
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●		・【予定】2024年5月までにBCP策定予定である。															9		11		13.1			16	17								
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●											8	9												17									
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●				1	2																	12	13	14	15	16	17						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・高齢者を雇用しており、差別やハラスメントのない職場環境を整備している。						4.3	5.1																16.1	16.2	16.7							
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働基準監督署の基準に基づく安全対策や安全大会への参加により、事故防止に取り組んでいる。 ・休憩室の設置や空調機の配布により、社員の熱中症対策を行っている。 ・事業所に従業員が自由に利用できる製氷機を設置している。						3																										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応を行っている。 ・就業規則により、賃金規定を定めている。							5.5														8.5	10.2	10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・時間外労働のない就業体制を整備しており、過度な長時間労働を防止している。 ・有給休暇取得の推奨により、ワークライフバランスを推進している。							3	5.5													8.5	8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得時の費用負担や、資格手当の支給を行っている。 ・重機、設備導入時のセミナーやOJTによる技術教育のほか、CCUSやCPDSを活用した社員の能力開発に取り組んでいる。								4	5.5												8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・年1回の健康診断や毎日のラジオ体操実施により、社員の健康増進に努めている。 ・健康診断の費用を全額会社で負担している。									3													8				17						
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・就業可能年齢を75歳とし、高齢者を雇用する等、ダイバーシティ経営に取り組んでいる。									4.4	5.1	5.5												8.5	10.2	10.3		16.7					
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●													3											8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●		・3D施工ソフト、3D測量機、勤怠管理システムの導入により、デジタル技術を活用した業務効率化に取り組んでいる。 ・【予定】2024年5月までに、ドローン、ICT建機を導入予定である。																							8	9.1		11	12				
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●																										3	4				8	9	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 株式会社凜興建

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・コンクリート殻・廃プラスチック・残土等の廃棄物は適切に管理し、廃棄時は業者による処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社内の照明はLEDへ移行し、電力使用量の削減を行っている。 【予定】2023年9月より簡易計算シートを用いて自社のエネルギー使用量を把握し、削減に取り組む。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・アイドリングストップや燃料効率の良い重機への切替により、CO2削減に取り組んでいる。 【予定】2023年9月より簡易計算シートを用いて自社の温室効果ガス排出量を把握し、抑制に取り組む。			2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・CO2排出量削減や、型枠には水性剥離剤を使用し、水質汚染対策を行う等、環境へ悪影響を及ぼさないように取り組んでいる。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・廃木材、コンクリート殻のリサイクルや、図面のCAD化によるペーパーレスへの取組みにより、資源の有効活用と廃棄物削減に取り組んでいる。											9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・型枠には水性剥離剤を使用し、水質汚染対策に取り組んでいる。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・事務用品を購入する際は、グリーン購入を推奨している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●				1	2			6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・花壇の整備やプランターの設置により、事務所の緑化に取り組んでいる。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	・燃費効率の良い重機、機械を導入している。 ・【予定】2024年5月までに、風力発電工事を受注する予定がある。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・施工時の水質汚濁防止に取り組む、汚水は適切に処理している。 ・【予定】2024年5月までに、海岸、港の清掃活動に取り組む。														12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●												9.4				13.1 13.3						
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.17		

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・想定されるリスクの認識と対策に向けて、安全性や品質をチェックするために、出来形管理基準に基づいた施工管理に取り組んでいる。			3.9						9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・工事現場の誘導路は、段差がないように整備している。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・型枠工事用の桧木には熊本県産を優先的に使用し、地産地消を推進している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・事務所の壁には木材を使用し、木質化を推進している。							7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・土木工事や建築工事により、地域の開発や住みよいまちづくりに貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・災害時の初動活動に迅速に対応する為に地区長との定期的な情報共有を行っている。 ・災害発生時には重機による復旧活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップは現場に掲示し、避難場所や避難経路を社員全員が把握している。 ・災害時に備え、事務所に非常食や飲料水を備蓄している。				4							11.5		13.1			16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・天草市の災害協定に加盟しており、災害時の支援を行っている。 ・社員が消防団員として活動している。	1.5		3	4						10.2	11.5			13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・本業で災害時の復旧工事を担っている。										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・取引先金融機関とSDGs委員会を開催し、社会課題の解決に向けて、社員への浸透を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・職場体験は随時受入を行っており、地元の学生に職業の学びの場を提供している。				4					8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6										17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17